

平成 30 年度 第 4 回 業務執行社員会議事録

合同会社掛川電気引込工事センター

1. 招集年月日 平成 30 年 7 月 18 日
2. 開催日時及び場所 平成 30 年 8 月 3 日 業務執行社員会 15:45～16:40
掛川市久保 2 丁目 2 番 1 4 号 掛川電気会館 大会議室
3. 業務執行社員の数及び出席業務執行社員の数並びにその出席方法
業務執行社員 8 名 出席業務執行社員 6 名
4. 出席業務執行社員の氏名
(代表社員) 鈴木通之
(業務執行社員) 松田良克、鶴田昌伸、松永充功、中根正太郎、内山仁志
《欠席者：大石 勇、市川良一》
5. 出席監事の氏名
無し
6. その他の出席者氏名
事務長 水野智義
7. 議長の氏名
鈴木通之
8. 議決事項に特別の利害関係を有する理事の氏名
なし
9. 議事の経過の要領及び議案別の議決の結果
■第 1 号、2 号、3 号、11 号、15 号のそれぞれの議案は出席理事の全員の賛成により、可決承認された。

定刻、定款の規程により、代表社員の鈴木通之が議長席について開会する旨を述べて議事に入った。

*業務執行社員会(以下、理事会という)、業務執行社員(以下、理事という)

議長は、先ず、事務長に会議の進行を委任した。

これにより、事務長は事前資料レジュメに沿って会議の開始をした。

■議題審議

第1号議案:商号変更(株式会社)に伴う取締役の決定について(7/25に投票を締め切りました)

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、出席理事は全員賛成し可決承認した。

- 各BLの選挙結果による取締役候補の当選者が決定しました。
(当選定義…ブロック内定数の過半数の獲得票)
- 本日の理事会において承認後
8月10日 9:00～ 第1回取締役会を開催して代表取締役社長、常務取締役、社外取締役、監事を決定する予定です。
- 上記により、合同会社における業務執行社員会議は今後なくなりました。
業務執行社員メンバーも本日をもって、発展的解散となります。(お疲れ様でした)
- 全体の選挙に関する概要…定数 113 投票数 105 投票率 93%

➤ 今後の予定

■8月10日(金)第1回取締役会議 9:00～10:00 (掛川電気会館)

■8月28日(火)センター臨時総会…取締役就任の承認と挨拶 16:00～16:30 (掛川学習センター)

■取締役候補の選挙結果…(投票数は、推薦者がなく白紙提出の数も含みます)

ブロック	立候補者	推薦された方	推薦された方	推薦された方	当選者
掛川 定数 22 投票数 20 投票率 91%	無	河原崎真義 得票数 13	中村共孝 得票数 5	寺井道雄 得票数 1	(株)三和電設 <u>河原崎真義</u>
		佐藤金兵衛 得票数 1	-	-	
菊川 定数 10 投票数 9 投票率 90%	無	内田喜久 得票数 8	鶴田昌伸 得票数 1	-	(株)内田電設 <u>内田喜久</u>
南部 定数 20 投票数 19 投票率 95%	松田良克 得票数 1	松田良克 得票数 16	-	-	浜電工業(株) <u>松田良克</u>
袋井 定数 15 投票数 15 投票率 100%	鈴木通之 得票数 1	鈴木通之 得票数 13	加藤茂樹 得票数 1	-	(株)鈴木電気商会 <u>鈴木通之</u>
森・山梨 定数 11 投票数 11 投票率 100%	中根正太郎 得票数 1	中根正太郎 得票数 10	-	-	(有)政和電気 <u>中根正太郎</u>
磐田 定数 35 投票数 31 投票率 89%	市川良一 得票数 1	市川良一 得票数 26	杉田省三 得票数 1	内山仁志 得票数 1	市川電機 <u>市川良一</u>
		大城和俊 得票数 1	-	-	

第2号議案:安全パトロールについて

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、出席理事は全員賛成し可決承認した。

- ▶ 福利厚生・安全委員会で決定したとおり、共同受注規程の本来の安全パトロールの原理・原則に従い各ブロックの委員は前年と同数を実施する。

(施工班の現場安全パトロールは、職員の安全パトロール専門員の小野田さんが実施するので、不要)

第3号議案:耐電圧試験について

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、出席理事は全員賛成し可決承認した。

- ▶ (実施日は中電(株)と調整・決定済み)
- ▶ 中電掛川は青年部が2人、掛川BLは鶴田理事リーダー他委員会メンバー5人で実施する。
実施日…9月11日(火) 雨天予備日として9月12日(水)
- ▶ 中電磐田は青年部が3人、リーダーとして磐田BLは内山理事及び磐田BLの山中委員が指導する。
実施日…9月6日(木)

第4号議案:認定技能訓練のスケジュールについて

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、出席理事は全員承認した。

11月に実施予定をします。

第5号議案:インターネット申込みの改善要望について

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、出席理事は全員承認した。

中電(株)へ改善要望事項を提出した結果、回答が文書にてありました。

ホームページに掲載しましたので、ご確認と周知徹底をお願いします。

第6号議案:センター6月度の月次報告

【別紙5】

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、出席理事は全員承認した。

標題の月次報告を情報公開致します。

第7号議案:センター会議6月19日と7月13日の報告

【別紙6】

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、出席理事は全員承認した。

標題のセンター会議の内容を議事録として、情報公開致します。

第8号議案:協力工事店の1Q実績について

【資料7】

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、出席理事は全員承認した。

別紙のように協力工事店の4月～6月までの実績内容を会員様へ情報公開をいたします。

第9号議案:中電(株)より表彰された件について

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、出席理事は全員承認した。

ホームページにも掲載しましたが、

7月10日に中電(株)伊出静岡支店長より安全管理体制の確立により安全表彰を受賞しました。

これは掛川センターの自選によるものです。(ガバナンスの徹底…コンプライアンスの改善、安全管理の評価)

第 10 号議案:災害復旧応援組織図について

【資料 8】

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、出席理事は全員承認した。
別紙のように改定しましたので、ご確認をお願い致します。
ホームページに掲載済み。

第 11 号議案:校正試験器について

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、会員(出資者)の利便性向上の為に購入する事に
出席理事は以下の内容で購入に全員賛成し可決承認した。

現在、校正試験器の本体を校正に出しています。

戻りは 8 月末予定。

- 校正試験器とトルクドライバーの購入を議論して、決定していただきたいと思います。
中電株子会社の中部精機㈱の見積もり金額です。
- 目的…会員様の利便性の向上の為。
- 見積もり予算…校正試験器(ムサシインテック標準抵抗器 HR-8)…140,400 円 税込
トルクドライバー(東日 2TM600CN)…124,200 円 税込

第 12 号議案:センター職員による安全パトロールの 7 月度報告について

【資料 9】

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、出席理事は全員承認した。

- センターのパトロール専従専門職員による 7 月度の内容を情報公開致します。
施工班 3 社の安全の状況についての評価。

第 13 号議案:センターのコーポレートガバナンスにおけるコンプライアンス違反の是正について

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、出席理事は全員承認した。

昨年の 8 月の理事会において、過去のセンター運営に多くのコンプライアンス違反があることに危惧し
センターの業務監査室長として組合事務長が任命され、企業の社会的責任(CSR)改善を実行して来ました。
実施完了した項目を情報公開します。(中電㈱、県協力会へも報告済)

- 共同受注業務規程の第 29 条、第 31 条、第 32 条、第 33 条、第 35 条、第 36 条、第 41 条
- センター下請負契約書の第 1 条第 3 項、第 4 条第 2 項、第 5 条、第 7 条、第 8 条、第 13 条第 2 項
- 協力工事店の委任状の理事会承認
- センターと協力工事店との契約書の締結
- センターと直営施工班 3 社との発注コストのステップでの均等是正
- センター会議の議事録の発行による情報公開を実施して組織運営の透明性を実施
- センター月度報告の発行による情報公開を実施して組織運営の透明性を実施

■今後の課題としてセンターは株式会社としての組織変更となり、コーポレートガバナンスの定着に向けて
更なるコンプライアンスの強化など、経営スキルを高め円滑に組織運営をする為に
外部による業務監視体制を、株式会社としての法人格に沿った取締役会において、
確実に推進する必要があります。

第 14 号議案:平成 30 年 5 月 24 日のセンター総会後の登記について

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、出席理事は全員承認した。

- 7 月 25 日に静岡地方法務局において、総会承認された事項の登記が完了しました。

第 15 号議案:直営班(専任班)への技能認定証の配布について

議長は事務長に説明を求め事務長は以下を詳細説明し、出席理事は全員賛成し可決承認した。

- 問題…共同受注業務規程の第 33 条、36 条に関して、コンプライアンス違反していた為、直営施工班の技能認定証が発行されていなかった。(直営班以外は配布済み)
- 課題…直営班に認定証を発行し、第 36 条のコンプライアンスを満たす。
- 対策…豊富な実務経験を備えた専門パトロール要員を採用した結果、安全パトロールの実施を開始した。施工班の安全管理が徹底できているので第 33 条、36 条のコンプライアンスを満足させた。この事から管理者の代表社員の決定により、認定証を配布し現場で常に携帯させる事とする。

上記のとおり議事の顛末を記録し、ホームページに掲載する。
また、出席理事全員が記名捺印後、事務長が保管する。

平成 30 年 8 月 3 日

議長業務執行社員 鈴木 通 之 ⑩

業務執行社員 松 田 良 克 ⑩

業務執行社員 鶴 田 昌 伸 ⑩

業務執行社員 松 永 充 功 ⑩

業務執行社員 ~~大 石 勇~~ ⑩

業務執行社員 中 根 正 太 郎 ⑩

業務執行社員 ~~市 川 良 一~~ ⑩

業務執行社員 内 山 仁 志 ⑩

< 次回の開催日 >

平成 30 年 9 月 7 日 センター取締役会(新、取締役メンバー) 16 時 00 分～

理事長	代表社員	事務長	報告者
			

【 掛川電気引込工事センター 月次報告書 】
 期間：平成30年 6月1日～6月30日

●伝票付託枚数 中部電力(株) ⇒ センター

	掛川営業所	磐田営業所	計
寺井電機	288	0	288
浜電工業(株)	221	23	244
(有)中泉電気工業	0	206	206
計	509	229	738

●協力工事店へのスイッチング工事 付託枚数 ※上記に含まず

	掛川営業所	磐田営業所	計
(有)竜東電気工事商会	0	51	51
計	0	51	51

協力工事店へのスイッチング工事発注に関して透明性・公平性が欠如している問題については、協力工事店から公募する方向で調整を進める。
 公募実施時期については、センター代表社員と事務局で検討中である。

●竣工実績(施工件数)

	引込線工事	計器工事	スイッチング工事	点検・改修工事	計
寺井電機	209	80	55	25	369
浜電工業(株)	184	81	49	0	314
(有)中泉電気工業	175	89	2	6	272
計	568	250	106	31	955

●手直票の発行状況

	内容	結果
寺井電機(株) 計1件	チューブ引下工事、合成樹脂管の支持が不適です。 (支持点間隔が1.5m以上あり、改修が必要です。)	寺井電機にて手直し完了済
浜電工業(株) 計1件	計器の取付高さが2.9mです。 (規程では1.8m～2.2mです。それ以外では施工しないでください。)	中部電力にて手直し完了済

(有)中泉電気工業 ありませんでした。

●クレーム、その他

ありませんでした。

代表社員	理事長	事務長
		

【 議 事 録 】

作成者: 小野

作成日: 平成 30 年 6 月 27 日

会議名	センター会議	
開催日時	2018 年 6 月 19 日(火) 16:00~17:05	
場所	掛川電気会館 2 階会議室	
出席者 (計 6 名)	直営班 : 寺井電機(寺井正美さん) 中泉電気(寺井将晃さん) 浜電工業(沖祥博さん) センター : 鈴木代表社員、鶴田業務執行社員、小野	
欠席者 (計 3 名)	直営班 : 寺井電機(寺井会長) 中泉電気(寺井社長) センター : 松田業務執行社員	

議題 1: 安全パトロール強化について

◆センター鈴木代表社員より、直営班を対象とした安全パトロール強化について通知し、出席者全員が了解した。

- ・直営班 3 社の安全パトロールが実施出来ていない現状を改善する為、専門要員を確保しパトロールを実施していくことが決定し、既に 1 名採用した。
- ・パトロールは月 3 回とし、センター会議にも出席する。

議題 2: 工事情報電子化について

◆センター小野より、下記①~③の項目について直営班へ提案を行ない、了解が得られた。

①センター⇄中部電力(株)の伝票授受は電子になるが、センター⇄直営班の伝票授受は、従来通り「紙」でのやり取りとしたい。

方法:センターで電子伝票をプリントアウトし、直営班へ渡す。施工完了後、直営班は伝票(紙)をセンターへ提出。センターがシステム上で竣工登録する。

センター鈴木代表社員より

県協力会の取締役会の際に他センターの状況を確認したが、どのセンターも「センターでプリントアウトし、紙で直営班に渡す」ということであった。

⇒直営班 3 社の了解が得られました。

②上記①により、直営班は電子システムにアクセスする必要が無いことから、直営班の電子証明書はセンター預りとし、センター(事務局 3 名)のみがアクセス権を持つこととする。ただし、システム運用開始後に必要と

判断した場合は、センター・直営班で協議の上、直営班へ電子証明書を交付しアクセス可とする。

⇒直営班 3 社の了解が得られました。

③センターへ施工予定表を提出する期日について

予定表は、施工前日までに直営班からセンターへ提出することになっており、現状ほぼ施工前日となっている。

電子化開始後は、センターがシステム上で施工予定日を入力するが、入力してから反映されるまで時間がかかることから、申込工事店が施工前にシステム上で予定日を確認出来ないという事態が考えられる。

その為、予定表の提出期日を前倒しする。

変更前(現在):直営班は、施工日の前日までにセンターへ予定表を提出する。

変更後(6月25日から):直営班は、施工日の3日前にセンターへ予定表を提出する。

直営班より

- ・現状のやり方(施工前日に事前連絡をしながら予定を組む)が、急な依頼にも対応しやすく、やり易い。
- ・しかしながら、電子化後は予定表の提出が施工前日ではシステムへの反映が間に合わないことも理解出来る。
- ・電子化後は、“工事店はシステム上で施工予定日を確認する”ということになっており、工事店が施工日を事前にシステム上で確認出来る為には、やはり3日前には予定表を提出しないと間に合わず、遅れることで工事店へ迷惑がかかり、苦情になってしまうことが予想出来る。
- ・ひとまず3日前で試行し、問題があれば協議していけば良い。

⇒「予定表を3日前に提出する」ということで、直営班3社の了解が得られました。

◆その他

直営班より、電子化後の事前連絡について

- ・現在は、施工予定日の連絡を行なう際、“先方工事完了の確認”“停電通知”等を兼ねて事前連絡を行なっている。

電子化後、工事店は予定日をシステム上で確認する為、事前連絡をしない件数が増えると予想される。そうなった時、現場に出向しても先方都合により施工不可という“空振り”が増えるのではないかと不安を感じる。

- ・現場の工期が遅れており、支持点完了していない。
- ・足場撤去が遅れていて施工不可 など

- ・“空振り”増加の不安はあるが、事前連絡の件数が減ることで業務負担が軽減されるという利点もある。

⇒ひとまず、電子化スタート時は「事前連絡を希望する」にチェックが入っていない場合は事前連絡をしない」という方針で試行する。問題があれば、都度センターへ報告する。

次回センター会議 :平成 30 年 7 月 13 日(金) 16:00 開始

上記内容について、合同会社掛川電気引込工事センター直営班の了解を得られました。

寺井電機株式会社	代表取締役会長	寺井 道雄	㊦
浜電工業株式会社	代表取締役	松田 良克	(代理) 沖 祥博 ㊦
有限会社中泉電気工業	代表取締役社長	寺井 邦夫	㊦

代表社員	理事長	事務長
		

【 議 事 録 】

作成者： 小野

作成日：平成30年7月31日

会議名	センター会議		
開催日時	2018年7月13日(金) 16:10~17:05		
場所	掛川電気会館 2階会議室		
出席者 (計6名)	直営班	: 寺井電機(寺井会長) 中泉電気(寺井将晃さん) 浜電工業(沖祥博さん)	
	センター	: 鈴木代表社員、小野田さん、小野	
欠席者 (計3名)	直営班	: 中泉電気(寺井社長)	
	センター	: 松田業務執行社員、鶴田業務執行社員	

議題1:安全パトロール実施結果について

◆安全パトロール係員 小野田さんより、当日実施した寺井電機(株)の現場パトロール結果について報告を行なった。

① 現場:掛川市長谷

- ・感電防止を徹底していた。防護を必要な個所へ都度付け替えし、丁寧に作業出来ていた。
- ・誤結線防止のテーピングが適切に実施されていた。

② 現場:袋井市豊沢

- ・3方空中分岐、メッセン新設の現場。まず既設メッセンを使用する可能性を検討したが地上高不足とわかり、すぐにメッセン新設へ切り替えて作業していた。
- ・弛度調整の際、DV線の端が落下しないようロープをつけて処理していた。ヒヤリ・ハットさせない作業で良かった。
- ・一線ずつ締め付け確認を実施していた。

※熱中症対策として、もっと水分補給を行なった方が良い。現場責任者がこまめに水分補給を呼びかけるなど、意識して作業に臨んで欲しい。

議題2:災害情報の共有

◆センター鈴木代表社員より災害情報を周知し、出席者全員で共有した。

「電柱から墜落し死亡(東北電力管内)」 ※詳細別紙

- ・これからの季節、厳しい暑さの中では疲れや焦りが出やすくなるが、こまめに休憩を取りながら安全作業に努めてもらいたい。

議題 3: 工事情報電子化について

◆センター小野

電子化運用開始後の状況確認の為、直営班の意見を集約し問題点・要望を共有した。
センターと中部電力で調整し、次回センター会議にて対応可否を回答する。

直営班より

- ・計器宅配日の表示が必要。現状は伝票付託後 2～3 日後となっているが、特に急ぎの工事などは正確に把握したい。
- ・工事店様やお客様の連絡先は、固定電話と携帯電話の両方記載が望ましい。
- ・工事店様の住所を伝票に表示出来ないか。中電管内か、それ以外か判別出来ると対応しやすい。
- ・撤去計器の番号を伝票に表示して欲しい。
- ・電子化以降、3 日後までの予定が組まれている状態であり、3 日以内の急ぎの対応が以前より難しくなっているという現状を、工事店様へ周知出来ないか。

次回センター会議 : 平成 30 年 8 月 17 日(金) 16:00 開始

上記内容について、合同会社掛川電気引込工事センター直営班の了解を得られました。

寺井電機株式会社	代表取締役会長	寺井 道雄	㊟
浜電工業株式会社	代表取締役	松田 良克	(代理) 沖 祥博 ㊟
有限会社中泉電気工業	代表取締役社長	寺井 邦夫	㊟

合同会社掛川電気引込工事センター協力工事店A、B、C
 < 4月～6月 工事件数 >



※協力工事店A、B、Cが中部電力株式会社の管内で施工し、検査を完了した工事件数

工事店 コード	工事店名	工事店 ランク	中電検査完了件数				計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
24001	(有) 秋山電機工業所	A	5				5
24002	(株) 阿形電気	A	31				31
24004	(株) 内田電設	A	26				26
24011	(株) 川北電気	A	0				0
24014	(有) 川村電気設備	A	52				52
24015	共栄電気工業所	B	15				15
24018	(株) 斉藤電気	A	25				25
24019	(株) 三和電設	A	64				64
24020	(有) 佐々木電気	C	7				7
24023	(有) 松英電気設備工業所	A	15				15
24024	(有) 政和電気	A	14				14
24025	(有) 正晃電設	A	27				27
24026	(同) 岡本電気工事店	B	15				15
24027	(株) 中遠電気	A	50				50
24028	土井電気工事(株)	A	33				33
24029	(有) 中上電工社	A	16				16
24030	浜電工業(株)	A	33				33
24031	浜岡テレビ協業組合	B	0				0
24032	平田電気商会	B	6				6
24036	藤田電気工事	C	7				7
24037	堀之内電気商会	B	0				0
24039	(有) 松浦電気設備	B	13				13
24040	栗山電気	C	16				16
24042	村瀬電気工事	B	4				4
24043	(有) ツルタ電気	B	7				7
24045	(有) 岩瀬電気工業	B	0				0
24048	名倉電気工事	B	4				4
24049	(有) 児玉電気	C	3				3
24051	(有) 地代電気	C	2				2
24052	鈴木電設	B	17				17
24055	(有) 佐藤電気工業社	B	17				17
24057	(有) 大石電工社	B	17				17
24058	(有) 中村電気設備	A	54				54
24059	(有) 東伸電設	C	0				0
24061	(有) 北島電気工業	A	27				27
24065	榛葉電気工業所	C	0				0
24069	池本電気工事	B	14				14
24070	(有) 裕和電設	A	105				105
24076	小谷電気	C	1				1
24079	(株) 田嶋電気工業所	A	52				52
24081	タカヨシ電設	C	3				3
24082	(有) 松永電工	B	67				67
24083	赤堀電設	C	4				4
24084	木村電気	C	10				10
24087	高橋電気	C	8				8
24088	マルヨシ電気店	C	7				7
24089	S K 電気商会	C	4				4
24101	藤下電器	C	1				1
24102	トモエ電気	C	55				55
24103	(株) 鳥羽電気	A	21				21
24106	山名電気	B	5				5
24107	西山電気	C	8				8
24110	(有) 水野電器	C	1				1
24303	(有) アサヒ電機	C	1				1

工事店 コード	工事店名	工事店 ランク	中電検査完了件数				計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
24304	内山電気商会	C	10				10
24305	(有)榎本電気工業社	C	0				0
24307	(有)遠州電気工事	B	22				22
24312	光生電気設備(有)	A	18				18
24315	昭和電気工事(株)	B	3				3
24323	福田電気商会	B	1				1
24325	前島電気工事(株)	A	53				53
24327	(有)村越電気工業社	B	16				16
24329	(有)よこいデンキ	B	1				1
24330	(有)竜東電気工事商会	B	2				2
24331	鈴木電気工事	B	0				0
24334	(有)興豊電気工事	B	3				3
24335	山中電気工事	B	3				3
24340	(有)恵電社	A	22				22
24342	(有)木下設備	C	6				6
24345	(有)ナガタ電気工業所	A	15				15
24346	(有)祥浩電気工業所	B	2				2
24347	岩田電気工事	C	21				21
24352	石晃電気設備	B	6				6
24353	山崎電気	A	20				20
24356	市川電機	B	12				12
24358	稲垣電機	B	19				19
24359	杉田電機	C	15				15
24360	村松電設	C	0				0
24361	(株)キタイ電気	A	16				16
24364	あおでんき工房	C	2				2
24366	(有)愛電社	A	0				0
24367	深田電気	B	15				15
24368	(株)赤松電気	C	16				16
24501	(有)モンヤ電気	B	28				28
24502	(株)小澤電業所	A	21				21
24505	(有)加陽電気	B	21				21
24506	郷中電気(株)	B	5				5
24507	(有)佐藤デンキ	B	13				13
24508	(株)鈴木電気商会	A	11				11
24512	中村電気工事(株)	C	2				2
24516	(有)小川電気店	C	5				5
24517	マルス電機	B	0				0
24518	(株)立正電気	A	24				24
24520	(有)テラデン	A	8				8
24522	竹下電気工事社	C	0				0
24524	大豊電気(株)	A	23				23
24525	弘和電業	B	10				10
24528	(株)大王	C	1				1
24529	二興電気工事	B	0				0
24532	(有)名倉電気	C	8				8
24533	(株)トラスト	A	22				22
24534	タケトミ電気	C	0				0
24535	(株)三電工	B	5				5

	(4月～6月)	(7月～9月)	(10月～12月)	(1月～3月)	計
協力工事店A	903				903
協力工事店B	388				388
協力工事店C	224				224
合計	1515				1515

作成日：平成30年8月1日
作成者：小野

【 (同) 掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】



作成者： 小野田 多克

実施年月日	平成 30 年 7 月 13 日 (金)
実施時間	11:30 ~ 12:50
現場住所 引込柱	袋井市豊沢 54ハ461
直営班 (会社名)	寺井電機㈱
現場作業者名	イ市川俊 戸田芳久 藤本久夫 太田陸斗
パトロール者所見	<ol style="list-style-type: none">1. 高所作業車でのバケット内乗降までの移動は安全通路で移動を しており安全が確保されている。2. 空中分枝支線の端末切断には切断支線の落下防止処置としてロー ープにて固定してから切断しており公衆保安対策が施されてい た。3. 低圧活線作業時には感電防止の為、低圧活線手袋を使用し安全 作業に努めていた。4. 作業監督者と柱上作業者との呼称・応答は柱上作業者の呼称は 確認できたが、作業監督者の応答の声が確認できずヒューマン エラー防止の為作業監督者は作業状況を確認し相手に聞こえる ような応答をしてもらいたい。

※現場写真は別紙参照

【 (同) 掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】



作成者： 小野田 多克

実施年月日	平成 30 年 7 月 13 日 (金)
実施時間	9 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0
現場住所 引込柱	掛川市長谷 5 0 二 0 4 1
直営班 (会社名)	寺井電機(株)
現場作業員名	イ市川俊 戸田芳久 藤本久夫 太田陸斗
パトロール者所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 低圧活線手袋・低圧防具シートの使用で流入・流失防止を図り災害防止に努めていた。 2. 動力線張替工事につき解線前にテーピングにより誤結線防止表示を行い良質工事に努めていた。 3. TBM-KYは実施しているが、内容が作業内容の説明が主で安全ポイントの説明が不足していた。(例 先方柱の直下には先方の作業員が工事の為入ることが予想されるので落下に特に注意することの指示)

※現場写真は別紙参照



代表社員	承認	担当	作成者
			

【 (同) 掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

作成者： 小野田 多克

実施年月日	平成30年 7月19日 (木)
実施時間	9 : 00 ~ 11 : 20
現場住所 引込柱	菊川市本所112-1 50ク344
直営班 (会社名)	浜電工業㈱
現場作業者名	藤本孝行 加茂厚作 松浦俊行
パトロール者所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. TBMは最初に監督者と作業者が合同で現場確認後、高所の止める位置、アウトリガーの張出位置等を含めた作業方法・手順を説明した打ち合であった。 2. 安全ポイント指示は高圧線から離れているので防護取付なしで動作は慎重に行う指示。 3. メッセン吊り工法の作業中に他の業者関係で一時作業中断になり垂れ下がり電線をメッセンまで巻き上げて公衆保安対策処置を行う。 4. 作業途中でも他の業者と打ち合わせをして、現場変化の状況に合う指示を出していた。 5. 低圧活線手袋未使用で作業し始めたので、監督者がただちに注意して改善を図る。 6. 接続時には、PGへの電線の挿入状況の点検が確実に実施され良質工事に努めていた。 7. 工事完了後の電圧確認も測定具使用し確実な点検をしている。

※現場写真は別紙参照


代表社員	承認	担当	作成者
			

【 (同) 掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

作成者： 小野田 多克

実施年月日	平成30年 7月19日 (木)
実施時間	13:00 ~ 14:20
現場住所 引込柱	菊川市和田827-4 50コ712
直営班 (会社名)	浜電工業㈱
現場作業員名	藤本孝行 加茂厚作 松浦俊行
パトロール者所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. TBMは作業方法と手順と安全ポイントは引出柱での電線先端の垂れ下がりに注意とうの指示が出て良かった。 2. バケツの移動時には作業員は周囲の確認をしているが、移動呼称がないので、監督者が確認応答し他社ケーブル等の周囲の確認をすれば、より安全度が向上する。 3. 撤去電線を停電するときに切断先端のテーピング処理をして感電防止をはかっていた。 4. 撤去電線を降ろす時、ロープ使用でガードマンと連絡を取りあった作業で良かった。 5. 柱上側の接続順はN線を先に接続し、線磨き・PGの挿入確認し良質工事に努めていた。

※現場写真は別紙参照

代表社員	承認	担当	作成者
			


【 (同) 掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

作成者： 小野田 多克

26

実施年月日	平成30年 7月 19 日 (木)
実施時間	10:00 ~ 11:10
現場住所 引込柱	磐田市赤池 56ラ435
直営班 (会社名)	(有) 中泉電機工業
現場作業者名	寺井邦夫 寺井将晃 遠藤和宏 岡田典久
パトロール者所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現場確認は図面を見ながら、確認しTBMに入ったので、共通認識が出来たと思います。 2. TBMは作業内容・手順・人員配置を的確に行い適切なTBMと感じた。 3. 一人KYを実施されTBMの内容にそつたKYを行われて監督者が、全員の内容を読み上げてその後、監督者が重点安全項目を発表し全員で大きな声で唱和を繰り返し、聞いてて気持ちの良いTBMでした。 4. バケット移動時の安全呼称と応答されて作業者と監督者の連携が良くできていた。 5. 工事中に他の業者がバケットの直下に入ったときには監督者が注意喚起を出していた。 6. 計器取り付けは一線毎に上締・引張確認、下締・引張確認を行い、完了後の結線確認は2名で行い良質工事に努めていた。 7. 高所作業車の車体アースの取り付けも行われており、災害防止の意識が感じました。

※現場写真は別紙参照



代表社員	承認	担当	作成者
			

【 (同) 掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

作成者： 小野田 多克

実施年月日	平成30年 7月26日 (木)
実施時間	11:20 ~ 12:50
現場住所	磐田市池田1270-4
引込柱	53ラ282
直営班 (会社名)	(有) 中泉電気工業
現場作業着名	寺井邦夫 寺井将晃 遠藤和宏 岡田典久
パトロール者所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. TBM-KYは作業内容・手順・人員配置・危険ポイントを細かに打合せを行い、指示内容にそった1人KYを実施し掛け合いコールを行い安全意識高揚を図る。 2. バケツト内に乗降時には補助ロープの使用は適切な位置で取り外しを行い転落防止をはかっていた。 3. 感電防止対策は低圧シートを有効的に使用し感電防止をはかっていた。 4. 柱上側の接続には監視者に連絡し監視者は他の作業者に送電の連絡し接続指示を出し安全確認ができた作業でした。 5. 計器取付工事は挿入・締付確認は1線毎に自問自答の確認と示唆呼称をして良質工事に努めていた。

※現場写真は別紙参照

代表社員	承認	担当	作成者
			

【 (同) 掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

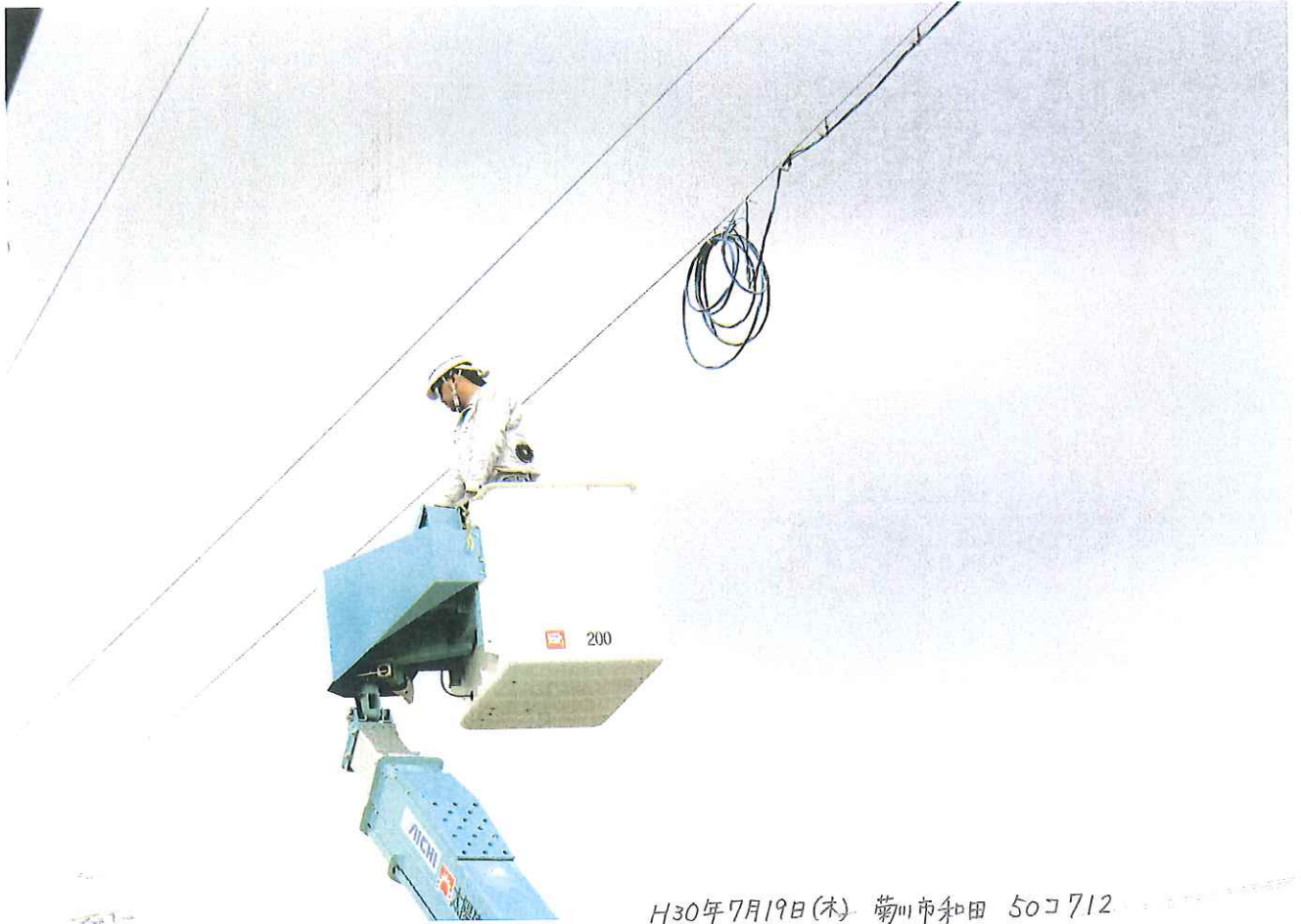
作成者： 小野田 多克

実施年月日	平成30年 7月26日 (木)
実施時間	14:00 ~ 15:10
現場住所 引込柱	磐田市敷地291-1 63才541
直営班 (会社名)	(有) 中泉電気工業
現場作業員名	寺井邦夫 寺井将晃 遠藤和宏 岡田典久
パトロール者所見	<p>1. TBM-KYはAMの作業と同様に細かに打ち合わせをしており、現場での重要な安全ポイント決めて呼称し安全推進をはかっている。</p> <p>2. 新設電線が 100DV×3cでメッセン吊工法でありメッセンを振り延線した時には道路横断ヶ所には監視者が立ち現場の安全確保に努めていた。</p> <p>3. 100のDVを取付には全員で協力しあい安全作業を進めていた尚4名での作業は適切な人員配置でした。</p>

※現場写真は別紙参照



H30年7月19日(木) 菊川市本所 507344



H30年7月19日(木) 菊川市和田 507712



H30年7月26日(木)
磐田市赤池 567435



H30年7月26日(木)
磐田市池田 53ラ282



H30年7月26日(木)
磐田市敷地 63才541